

プロジェクト研究Ⅱ

4 units (compulsory) 1st-year(whole year)

Shogo Hirai · PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES, Shinichi Takahashi · PROFESSOR / COMMUNITY DEVELOPMENT STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Hiroshi Yamamoto · ASSOCIATE PROFESSOR / ENVIRONMENTAL SYMBIOSIS STUDIES, REGIONAL SCIENCES

Target) 地域・環境に関わる諸課題を実践的に解明するワークショップ方式の授業。専門の異なる文系・理系の複数の教員が共同で運営する。受講者は各々の専門性に依拠しつつ、共同で研究課題の設定、先行研究の検討や調査・実験等を行い、結果を報告書および公開報告会で発表することが義務づけられる。とくに本授業では、社会的ニーズが高い地域・環境に関わる諸課題を取り上げることで、総合的な分析視角を修得するのみならず、地域諸団体(自治体・NPO・企業等)との連携を通じて、共同研究遂行におけるマネジメント能力など、総合的研究の組織的遂行に求められる実践的な能力をも育む。共同研究プロジェクトが効率的に行われるよう、平井は地理学の視点から、高橋晋一は文化人類学・民俗学の視点から、山本裕史は環境化学の視点から、担当教員全員がそれぞれ共同して指導にあたる。

Outline) 地域・環境課題解決のための総合的アプローチ

Keyword) 地域社会, *environment*, *regional culture*

Notice) 本授業は、地域・環境に関わる諸課題を解明するための調査・実験をともなう。そのため、受講者と相談の上、土日曜など授業時間外にフィールドワーク・インタビュー・実験などの作業を実施することもある。

Goal) 本授業の到達目標は、文理融合型のプロジェクトの下に、地域・環境課題に関わる共同研究を通じて、課題解決のための実践的な能力を育むことにある。

Schedule)

1. 本授業については、以下の内容で授業を行うが、担当教員の他にも、適宜必要に応じて地域諸団体関係者に参加してもらう。
2. 1) 研究課題の設定
3. 2) 研究課題に関する先行研究の検討と資料収集
4. 3) 研究課題に関する研究アプローチの検討 < 中間報告の実施 >
5. 4) 研究計画(プロポーザル)の作成(必要に応じて修正)
6. 5) 課題に関する実験・調査の実施
7. 6) 関連データの収集と検証
8. 7) 収集データの分析
9. 8) 分析・調査結果の検証 < 中間報告の実施 >
10. 9) 課題解決策の検討
11. 10) 課題解決策の提案 < 中間報告の実施 >

12. 11) 研究計画(プロポーザル)の実施内容について

13. 12) 研究成果報告の作成

14. 13) 研究成果報告についての公開報告会の開催 < 最終報告の実施 >

Evaluation Criteria) 本授業、受講学生には中間報告・最終報告の他に、報告書作成を義務づける。実施計画書(プロポーザル)の遂行状況、発表内容・報告書、共同研究への取組姿勢などにより、担当教員の協議の下に成績評価を行う。

Re-evaluation) 行わない。

Textbook) なし。授業時に必要なテキスト・資料については適宜指示する。

Reference) なし。授業時に必要なテキスト・資料については適宜指示する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218201>

Contact)

⇒ Hirai (2116, +81-88-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:hirai@ias.tokushima-u.ac.jp)

⇒ Takahashi (+81-88-656-9486, takahashi@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:takahashi@ias.tokushima-u.ac.jp)

⇒ Yamamoto (総合科学部3号館2N07, 7618, hiroshi@ias.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](mailto:hiroshi@ias.tokushima-u.ac.jp)